

2022 年度 福祉助成金（活動助成） 成果報告書

ふりがな	とくていひえいりかつどうほうじん あーとふぁーむ	
団体名	特定非営利活動法人アートファーム	
代表者名	大森 誠一	
連絡先	住所	岡山県岡山市北区丸の内一丁目 1-5 栗山ビル 402
	TEL	086-233-5175
	E-mail	info@artfarm.or.jp
	URL	http://www.artfarm.or.jp
設立年（西暦）	1992 年	
助成活動名	アクセス・アーツ・オカヤマ	
助成額	700,000 円	
活動内容	目的	<p>当団体は 2022 年度の創立 30 周年にあたり、主催事業に新たなミッションを掲げました。「社会課題に応え、感動体験を創る」という方針のもとに、4つの目標<共生社会をめざす><創造環境を拓ける><鑑賞弱者を支える><社会障壁を超える>ことを表明しました。</p> <p>この事業ミッションを具現化した取り組みが、今年度に貴財団の活動助成に支援申請をさせていただきました「アクセス・アーツ・オカヤマ」です。</p> <p>経済性や効率性が優先される現代社会のなかで、私たちは、ハンディキャップを抱えた人々や、マイノリティを余儀なくされた人々など、さまざまな困難な環境や状況にある現場と現実に向き合い、文化芸術を通じた社会包摂のアクセシビリティを実践する取り組みを継続していくことにいたしました。</p>
	内容	<p>「アクセス・アーツ・オカヤマ」は今年度、4つの活動に取り組みました。</p> <p>※計画していた長島愛生園での上演はコロナ陽性者発生のため中止としました。</p> <p>◇岡山自主夜間中学校「表現ワークショップ」5月4日・5日 両日 14時～ 表町商店街の同校教室 講師：小野寺修二、藤田桃子 参加者：在校生 28名</p> <p>◇LGBTI 東京公演『りつとにじのたね』と多世代ワークショップ 10月15日・16日 両日 14時～ 西中島遊園地 上演：劇団 LGBTI 東京 来場者：156人</p> <p>◇スロー・シアター・プロジェクト『デクノボー変奏曲』10月29日・30日 両日 13:30～ 西中島遊園地 高齢者・障害者を交えた演劇公演 来場者：156人</p> <p>◇記録上映『長島ストーリープロジェクト』10月29日・30日 両日 15:30～ 西中島公会堂 長島愛生園の人と歴史を描いたドキュメンタリー 来場者：32人</p>
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間中学校での「表現ワークショップ」ではパントマイムの手法を用いて、高齢者・障害者・外国人らの生徒が身体表現による共通理解を体験した。 ・セクシュアルマイノリティの俳優・演出家・舞台スタッフで構成された演劇集団の上演とワークショップに一般市民も参加して物語体験を共有した。 ・宮沢賢治の詩「雨ニモマケズ」を題材にした演劇創作公演『デクノボー変奏曲』に、年齢の相違や障害の有無などの隔たりを越えて参加・協働・発表した。 ・国立ハンセン療養所の長島愛生園での入所者とその歴史や環境を記録したドキュメンタリー4作品を連続上映し映像作家らのアフタートークも併催した。 <p>◇活動のミッションに掲げた「社会課題に応え、感動体験を創る」に第一歩を記すことができ、文化芸術によるアクセシビリティの可能性を実感できた。</p>
今後の課題と対応策	<p>当団体が 2022 年度に発足した「アクセス・アーツ・オカヤマ」にとって、最も重要なミッションは<継続>することにあると考えます。今回のさまざまな活動を通して出会ったハンディキャップを抱えた方々や、マイノリティを余儀なくされている方々は、この体験をきっと忘れないはずです。その方々の体験や経験を、より豊かな共感や感動に止揚させていく使命が、私たちにはあります。社会課題と文化芸術のアクセシビリティについて、福祉・教育・医療・環境・農林漁業・国際・地域振興など多分野との連携を図りながら、もっと視野を広め、専門性を高め、コミュニケーションの機会を育みたいと考えています。</p>	



夜間中学校「表現ワークショップ」2022.5.4



LGBTI 東京「りつとにじのたね」公演 2022.10.15



スロー・シアター・プロジェクト「デクノボー変奏曲」公演 2022.10.29

写真の提出